



## 新入staff

### 紹介コーナー

リハビリテーション科



三浦「まだ分からないことばかりですが、多くのことを吸収して1日でも早く先輩方と並んで仕事ができるように頑張ります。」

前田「緊張していますが、勉強と経験を重ね一人前の作業療法士として働けるように頑張ります。」

## やまばとギャラリー 情報コーナー information

7月のギャラリー展示は、「金魚」でした。患者さんとスタッフが一緒にトイレトペーパーの芯の金魚の体に花紙や包装紙をちぎって貼り、金魚の尾びれにしました。金魚の目は、患者さんのイメージに合わせて丸にしたり、まつげを付けたり、ウインクしたりしました。金魚の体の部分には、ペンで模様を描いたり、柄の包装紙を張り付けて、個性的な「金魚」を目指しました。吊るした金魚の揺れを見て、初夏の季節を感じながら、見ていただきましたでしょうか。8月のギャラリー展示は「あさがお」です。



(児童指導員 笠松 陽子)

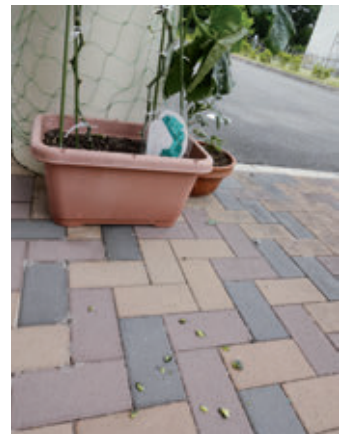


## 通所支援事業の ひとコマ

### 園芸活動継続中!!

通所支援では、利用者さんたちが「園芸部」の活動を頑張っています。4月から「向日葵」「きゅうり」「オクラ」「朝顔」とさまざまな野菜や花を植えました。追肥したり、水まきしたり…と部活動?! に励んでいます。大きく育ったきゅうりは、先月号でもお伝えしました【OPEN CAFÉ】で試食(お味見会)もしました。利用者さんたちと「これ、もうすぐ大きくなるんじゃない?」「こっちは?」と次の収穫を楽しみにしていました。

ところが…、次に収穫予定だった「きゅうり」が朝にはなかったのです!! プランター周辺にキュウリが食べ散らかされていました。「きゅうり泥棒〜???」と通所のみんなで「誰が犯人か…」と推測しました。「カラスじゃない?」「アライグマじゃない?」と犯人を予測していましたが、未だわからず…。きっと三重病院周辺の自然豊かな森に住む動物たちでしょう。大きく、そして美味しそうに実った「きゅうり」を食べにきたのでしょうか。利用者の皆さんは、とってもビックリ!そして残念そうな表情でしたが、これもまた自然なこと…と、みんなの学びの機会になりました。



通所支援事業では、園芸部としての活動以外に、9月には社会福祉法人日本肢体不自由児協会の主催する「肢体不自由児・者の美術展/デジタル写真展」にも自分たちで制作した作品を出品します。自分たちの手や足の形をとり、食べ物や植物、そのほかさまざまなモノを描きます。それらの作品は来年の1月に返却されます。その際には、三重病院内でも美術展を開催したいと思えます。お楽しみに♪

通所支援事業は、さまざまな取り組みにチャレンジし、暑い夏を乗り切っています!

(主任児童指導員 丸澤 由美子)